



Title	南京空襲に関する日中史料対照表
Author(s)	大坪, 慶之; 倉田, 健吾; 楠田, 崇平
Citation	近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター. 2018, 8, p. 10-32
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/84903
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

南京空襲に関する日中史料対照表

大坪慶之・倉田健吾・楠田崇平

ここに掲載するのは、日本軍による南京空襲（1937年8月15日～12月13日）に関する日中双方の史料を対照した5種類の表である。南京空襲で爆弾が投下された場所については、これまで日本側の史料に依拠して言及されることが多かった。しかし、日本軍の南京占領後に現地調査を行った源田實（第二聯合航空隊の参謀として空襲に参加）によると、戦闘詳報などの報告内容と現地調査の結果とは必ずしも一致しなかったという¹。したがって、現地の様子が分かる史料、例えば中国の新聞で報道された被害場所に関する情報の把握が重要になってくる。一方、先行研究では中国で発行された新聞の利用は一部にとどまり、記事中に登場する着弾地点に関する情報を網羅的に収集・整理する作業は、管見の限りなされていないようである。そこで、南京空襲の記述が比較的多い『中央日報』『申報』の二紙について²、被害状況を報道している記事から地理的な情報（道路名・住所・建物名など）を収集するとともに（表2・表3）、異同を対照できるように日本側史料の内容も整理した（表4・表5）。また対照を容易にするために、表2～4をまとめた表1を作成した。

表1は、『中央日報』『申報』の記事と日本側史料と照らし合わせつつ、着弾地点に関して筆者三名の間で議論した結果をまとめたものである。着弾地点について中国側の新聞が曖昧な書き方をしている場合は、日本側の戦闘詳報や戦闘概報、『戦史叢書 中国方面海軍作戦（1）昭和十三年三月まで』（防衛庁防衛研修所戦史室、朝雲出版社、1974年）に出てくる爆撃の目標や結果報告を参考に、範囲を絞り込んだ³。表2は、『中央日報』の記事に登場する住所や建物名など、具体的な場所が分かるデータを軸に各項目を作成したものである。一方、表3では『申報』の被害報道の記事と『戦史叢書』の記述とを対照できるように、日付を基準にしている。表4は、アジア歴史資料センターのホームページで公開されている戦闘詳報・戦闘概報の内容をまとめたものである。また表5は、阿部信夫（編著）『支那事变戦記—海軍航空戦—』（大日本雄辯会講談社、1939年）の内容および巻末付録の空爆・撃墜一覧表をもとに、関連するデータを整理したものである。

以上のように、表1～表5は実際の着弾地点を明らかにするというより、日中双方の史料を対照することに重きを置いている。そのため、各表のデータが必ずしも合致しているわけではない。また、当時の地形図や空中写真を利用した考察ができていないなど、不十分な点もある。それらについては、読者諸氏のご海容をたまわるとともに、ご教示を願う次第である。

¹ 源田實 1961『海軍航空隊始末記—発進篇—』文藝春秋新社、pp.191-192, 228-229 参照。

² 『中央日報』は国民党の機関紙として、南京で発行されていた。また『申報』は、1872～1949年にかけて主に上海で刊行されていた、中国で一・二位を争う部数を誇る中文日刊紙である。

³ 例えば中国側の新聞に「東南門外」と報道され、日本側の目標・爆撃地点が「大校場飛行場」とあった場合は、実際に飛行場が南京城の東南郊外に位置していたことから、同じ場所を指していると判断した。

表1. 総合

番号	日付	爆撃の目標地点	投弾数合計or機銃掃射	位置(登記区)	爆撃地点(投弾数)	建築物被害状況	備考
1				5区か	中正路(1)		同時に、大陸銀行(新街口)・妙機公司(位置不明)を機銃掃射か。
2				2区	明故堂(2)	一箇所は午朝門(不発)	
3				2区	馬府街(1)	不発	
4				5区	止馬堂四号(1)	房屋に大きな穴があく	
5				郊外(南東)	通済門附近(2/5)		投弾数は、光華門外と合わせて5。
6				郊外(南東)	光華門の外(2/5)		投弾数は、通済門と合わせて5。郊外の七里街か。
7	8月15日	大校場・明故宮飛行場		郊外(南東)	不明(1)		位置は『中央日報』から推測。
8				2区	馬路街	電柱1本	電流を止めており、影響なし。
9				4区か	泰倉巷四号		
10				郊外(南東)	七里街二十一号		
11				2区	火瓦巷四十七号		
12				3区	東石欄街	警察分駐所の建物が損壊	
13				7区	宝塔橋(街)【下関】		
14				5区	【中山路】	中央日報社	爆撃地点は建物名称から比定。
15					蓮子村一号(1)	不発	
16	8月16日		城外4(うち不発2)	郊外(北)	蓮子村二号(1)	房屋が半壊損壊	人的被害なし。
17					五洲公園(2)	一つは湖に落ちて不発。一つは「留日同学会」付近に落ちて爆発するも、被害無し。	
18	8月19日	南京火薬廠・南京兵器廠【七里街附近】	城外10発以上	郊外(南東)	【大校場】飛行場(2)		目標地点は、「戦闘詳報」の地図より推測。他に、軍官学校や国民政府参謀本部も目標となり、爆弾が投下される(戦闘詳報)。
19	8月22日	大校場飛行場	城外2	郊外(南東)	郊外の野原(2)		投弾地点は「雨花台」附近か(戦闘概報)。
20	8月24日	大校場飛行場	城外2	郊外(南東)	郊外(2)		
21			城内(数十弾)、城外(数弾)	6区			
22	8月27日	憲兵団、航空署、軍官学校、警備司令部、銀行街		郊外(東)		中央大学実験中学(房八十余間)は破壊)	『申報』には26日 上午とあるが、「戦闘詳報」『中央日報』の記事から、27日未明の誤りと思われる
23						遺族学校【国民革命軍遺族学校、1928年創立】	『申報』には26日 上午とあるが、「戦闘詳報」『中央日報』の記事から、27日未明の誤りと思われる。遺族学校は、紫金山の南側。
24		兵器廠【七里街附近か】		郊外	【城内三省三医院】「城内にある江蘇省立第三医院か」		『申報』には26日 上午とあるが、「戦闘詳報」『中央日報』の記事から、27日未明の誤りと思われる
25				郊外	郊外	三箇所で民居が火災(重大な損失なし)	目標地点は、8月19日と同じか。
26				【郊外(西)】	【江東門】	中央広播電台(損害は軽微)	午前。位置は洪武路・白下路交差点か。
27	9月19日	南京附近敵飛行機		【郊外(東南)】	【太平路か】(2)	自來水廠(損害は軽微)	午前。附近に投弾2。
28				【郊外(東南)】	【大校場】飛行場(損壊一所)		午前。「戦闘詳報」には、大校場飛行場とあり。
29				郊外(西)	【七里街】	兵工廠(損害は軽微)	午前。
30					【江東門街】(数弾)	江東門附近(重大な損失なし)	午前。
31					南城(数弾)		午後。同日の4・5区の空襲をまとめたものと思われる。
32					【太平路】(数弾)	太平路西自來水廠	午後。
33	9月19日	南京附近敵飛行機、防衛司令部・附近市街地		3区	李家苑		午後。死傷婦孺約十人。場所は、建康路の北側で最さは東西300メートル。東は旧王府園、西は承恩里。現在
34				4区	【(投弾あり)】	棺材店、市立医院	午後。『申報』に「炸一」とあり(表3番号23)。
35				4区	下江考棚(1か)	民房数箇所	午後。
36				5区	白酒坊	民房数箇所	午後。
37					評事街	民房数箇所	午後。
38				4～5区か	教少堂	民房十余間	午後。死傷数人。
39				郊外(南)	中華路(僅か)	民家多数力所破壊	
40				郊外(東南)か	中華門外西街香舖堂		「富貴山」は、紫金山が南京城内の東北部に張り出した場所。で、砲台がある。
41				2区		飛行場【大校場】	
42				郊外(東)		紫金山端氣象台	
43	9月20日	国民政府・参謀本部・中央電播台		1区	鄧府巷	民家が数力所破壊	
44				6区		中央大学	
45				6区		挹江門	
46				6区		和平門	
						自來水廠	

47			1区	国府路	道路が破壊	『申報』に「国府附近之国府路」とあり(表3番号26)。
48			6区	中山路北段	道路が破壊	「鼓樓附近之中山路北段」とあり(表3番号26)。
49			6区	中央党部(5)	中央党部の屋敷を毀損(軽微)、裏側の民生旅館が被害、附近の橋が全壊	午前。
50			6区	〔中央党部附近〕池塘・荒地(十余枚)		午前。
51			6区	〔中央党部附近〕路面(7~8)		午前。
52		中央党部	6区	〔中央党部附近〕民房(十余枚)	房屋五十余間を毀損	午前。平民四十余人が死傷。
53			6区	山西路口の中山路		
54			6区	寧夏路口の小山上		
55			7区・8区	浦口・京滬車站一帯(十余弾)		午後。
56			7区	英商和記洋行一帯		
57		南京停車場・周辺の倉庫	7区	〔下関〕	難民収容所	
58			7区	煤炭港附近(数弾)		
59	9月22日		6区	〔下関〕		
60			6区	新住宅区		午前、アメリカ・イタリア・ドイツ大使館の所在地。
61			6区	鼓樓アメリカ大使館附近		西康路沿(琅琊路と天竺路の間。旧跡として現存)。
62			1区	〔太平路・中山東路〕	大行宮	
63			「城南」	ABO番菜館門前(多	道路に大きな穴が開く	
64			3区	内政部	中国銀行裏側の住宅1箇所	
65		内政部、警備司令部	3区か	警備司令部		憲兵司令部のことが。
66			3区	〔太平路〕(数弾)	電報局	
67			3区・4区	秦淮河(3)		
68				旅京外人の住宅区		
69				飛行場		
70			郊外(南東)	兵工廠、その他軍事機關		
71				英商國際出口公司の浮き橋		
72			7区	下関(数弾)	首都電廠(機器が多少の損傷)	「首都電廠」は、下関にある電灯廠。現在、遺址公園。
73		下関電灯廠	7区	中山碼頭		中山北路が長江に出るところ。首都電灯廠附近。
74			7区	下関	電力廠	
75		財政部	1区	洪武路・土街口(3)	中央通訊社の總社(社屋全壊)	
76			1区	〔中山東路・鹽政牌土街口(1)	海關公署	海關公署は、財政部に連なっている。
77		中央広播無電台	郊外(西)	江東門外(不明)	江蘇銀行の門前	
78			郊外(西)	江東門	中央広播電台(機械の部品が破壊)	
79					一体の房屋	
80			7区・8区	太古公司碼頭附近(2)〔下関・浦口〕	自來水廠	
81				イギリス商社の祥泰木行公司(1)		
82				路透電の周囲500ヤード以内(6)		
83			1区	〔黃浦路〕	衛生署(全国衛生署、全壊)	
84		交通兵団	1区	〔中山東路〕中央醫院の後面(1)	中央醫院附近一帯	
85			2区(or6区)	頭條巷		
86			2区(or6区)	二條巷		
87			2区(or6区)	三條巷	一体の房屋	
88		交通兵団・北極閣防空指揮所	1区	大紗帽巷		
89	9月22日		6区	〔鷄鳴寺の南側〕(1)	中央大学文学院附近(美術科と公共衛生	

90	ソノム	北極閣防空指揮所	6区	峨嵋路		
91			1区と6区の境界	四牌楼	衛生事務所分所	
92					劉公祠	
93					美新煤炭商	
94			7区の南側境界	三汊河(5)		
95		南京兵工廠〔七里街附近 か〕	郊外(東南)	〔七里街〕	觀音寺	
96			4区	胭脂巷		
97				幸福巷		
98				和合街		
99				和合里		
100					自來水廠	
101					広東医院	
102					中山汽車行	
103			3区	針巷		
104			2区	致和街		
105			2区	健康路	一体の房屋	
106		市政府	3区・4区	門東	一体の房屋	
107			4区	迎賓	一体の房屋	
108			2区	王府園27号院内		日本の駆逐機が1機墜落。
109		中央党部	6区		〔中央〕党部	
110					法国哈瓦斯通訊社南京分社	フランスの通信社(『寛橋精神』p.300)。
111					海通社南京分行	フランスの通信社(『寛橋精神』p.300)。
112					美聯社	建築中。
113			郊外(北)	八卦洲(数弾)		
114		浦口停車場附近の倉庫	8区	〔浦口〕	津浦路局が損傷(車房、水塔、車輛軌道)	
115	9月27日				浦口小学校(校舎の一部が毀損)	
116					扶輪小学校(校舎の一部が毀損)	
117				小河南の下碼頭	民房の毀損	
118				合成街	民房の毀損	
119	9月28日	大校場飛行場	郊外(東南)	光華門外飛行場	大校場飛行場	
120				〔七里街〕	兵工廠	
121				大校場飛行場		
122	10月6日		郊外(東南)	大校場飛行場附近 (数弾)		
123	10月12日	大校場飛行場、火薬廠	郊外(東南)	光華門外(26)	少數の民家が毀損	
124			3区	水佐宮五号〔門東〕	楊宅	
125	10月13日		郊外(東南)	大校場飛行場		
126				光華門外(数弾)		
127	10月14日		郊外(東南)	光華門外(6)		
128	10月16日		郊外(東南)	光華門外郊野(数弾)		
129	10月18日		郊外(東南)	光華門外郊野(数弾)		
130			郊外(東南)	東南門の外(10数弾)		
131			郊外(東南)	光華門の外(数弾)		
132	10月19日	大校場飛行場	8区	浦口	浦口は火車輪渡、付近の家屋、津浦輪渡を含む。 「富貴山」は、紫金山が南京城内の東北部に張り出した 場所、砲台がある。	
133			1区	武定門附近、富貴山 の裏		
134			7区	下関輪渡		
135	10月20日	大校場飛行場格納庫、附 近兵舎群	郊外(東南)	大校場飛行場		
136				兵工廠		
137	10月21日	大校場飛行場、火薬廠、 造兵廠	郊外(東南)	大教〔校〕場飛行場	軽微な損害	『中央日報』に「投弾」とのみあり(表2番号59)。
138		浦口停車場、国防硫酸亜 廠	8区	浦口	津浦路輪渡碼頭(簡單)には修復不可能)、 浦口車站	『中央日報』に「投弾」とのみあり(表2番号60)。
139	10月22日		郊外(東南)	大校場飛行場附近 (数弾)		

140	10月23日			郊外(東南)	大校場飛行場附近 (数弾)	一部の房屋毀損	
141	10月26日			郊外(東南)	大校場飛行場の左側 (数弾)	飛行場内に数箇所穴があく	
142	11月10日	大校場飛行場(格納庫、 兵舎、航空機)		郊外(東南)	大校場飛行場附近 (数弾)	損害なし	
143	11月11日	大校場飛行場		郊外(東南)	大校場飛行場附近 (10数弾)		
144	11月15日	大校場飛行場、飛行機		郊外(東南)	大校場飛行場附近 (20余弾)		
145				郊外(東南)	光華門外(数弾)		
146				1区	二郎廟(街)		
147	11月24日	電話局		1区	遊府西街	1日合計で民房数十間	投弾数は1日合計で10余弾。
148				1区	碑亭巷		
149						国民大会巨厦城の東南隅(1)	
150						李西中学房屋(1)	
151	11月25日			郊外(東南)	大校場飛行場(12弾 以上)		
152				郊外(東南)	兵工廠、飛行場附近		
153	12月3日			郊外(東南)	光華門附近(数弾)		
154				郊外(東北)	ゴルフ場附近(多数)		ゴルフ場は、太平門の外側すぐ(富貴山近く)の場所。
155	12月4日	南京面飛行場飛行機or明 故宮飛行場格納庫		郊外(東南)	大校場飛行場・その他 軍事機関		
156					逸仙橋の東側手前の 河岸一帯(20数弾)		
157	12月5日	明故宮飛行場格納庫		1区・2区	中山門外から西華門 大街の間の区域		うち5弾が、明故宮飛行場に命中。
158					明故宮飛行場の西側 の貧民区域(8)		
159	12月6日			1区	浦口車站付近(10数 弾)	津浦路局第八号第十号貨棧	
160				8区			
161	12月7日			8区	浦口車站		
162				7区	下関(10数弾以上)		
163	12月9日			郊外(東南)	大校場飛行場および 南京周辺の中国軍の		日本軍が大校飛行場を占領。
164	12月12日			7区・8区		パナイ号	

註： ①「空襲の目標地点」は、表4(戦闘詳報・戦闘概報)に基づき、また「位置」と「備考」は整理を行った筆者らによるものである。残りの項目は、表2・3(『中央日報』『申報』)をまとめたものである。
 ②「位置」は、筆者が「爆撃の目標地点」「爆撃地点(投弾数)」から比定したもので、「O区」は登記区を表す。郊外についてはある程度分かるものについては、「郊外(八方位)」で示した。
 ③「爆撃地点(投弾数)」にある【 】は、記事の文脈から整理を行った筆者らが推定した場所であることを示す。
 ④「爆撃地点(投弾数)」にある【 】は、当該地名の所在地を分かりやすくするために整理を行った筆者らが情報を追加したものであることを示す。
 ⑤「備考」の番号111・112に出てくる『寛橋精神』は、何邦立(編著)『寛橋精神—空軍抗日戦争初期血涙史—』独立作家、2015年。

表2. 中央日報

番号	日付	到達時刻 (次数)	爆撃時刻	爆撃地点(投弾数)	建築物被害状況	備考	出典日付
1			14:30	午朝門(1)	不発	8月15日の投弾数は合計11、うち2個が不発、命中したうち5箇所が軽い損傷(番号1～12)。明故宮にあり。	
2			14:35	城南郊外(6)		表3番号7・8から、通済門・光華門の外の可能性大。	
3			14:35	馬路街	電柱1本	電流を止めており、影響なし。	
4			14:35	馬府街(1)	不発		
5			14:55	止馬宮四号(1)	房屋に大きな穴があく		
6	8月15日	13:55	14:55	泰倉巷四号		女性雇人の右足に、機銃掃射が一発命中。	8月16日
7			15:15	七里街二十一号		住人の租義良(男性)が、機銃掃射で負傷。	
8			15:20	火瓦巷四十七号		機銃掃射で1人負傷。	
9			15:20	東石礪街	警察分駐所が2回の機銃掃射で建物損壊		
10			15:20	宝塔橋【街】【下関】		宝塔橋で2人負傷、江辺の駁船(主に河川での運搬用に用いられる小型船)で1人負傷。	
11			不明	【新街口付近】	中央日報の建物	機銃掃射後、国府路に沿って東へと抜ける。	
12		17:00頃		【記載なし】		偵察に来たようだが、投弾せず。	
13			10:00	蓬子村一号(1)	不発	8月16日は4回の空襲があったが、市内上空に達したのは1回の模様。投弾数は合計4。うち2個が不発。番号14は人的被害なし。	8月17日
14	8月16日	6:20	10:00	蓬子村二号(1)	房屋が半間損壊		
15			11:10	五洲公園(2)	一つは湖に落ちて不発。一つは「留日同学会」付近に落ちて爆発するも、被害無し。		
16	8月19日	19:00		【記載なし】		民国軍と戦闘になり撤退。	8月20日
17	8月22日	19:45		郊外の野原(2)			8月23日
18	8月24日	20:00		郊外(2)			8月25日
19	8月27日	0:00		城郊(数弾)	三箇所で民居が火災(重大な損失なし)	空襲の時間は、0:00-3:00。流【ママ:硫】磺弾を使用。	8月27日
20		午前		【記載なし】		民国軍と戦闘になり撤退。	
21	9月19日	15:00		【記載なし】		民国軍と戦闘になり撤退。	9月20日
22	9月20日	10:20		城南及城中(7)	房屋破壊五十余間	空襲の時間は、10:20-12:40。平民の死者15人、負傷者16人。	9月21日か
23				【玄武湖東】	中央党部(房屋毀損多間)	9月22日1回目の空襲の時間は、11:00-11:45(番号23～26)。「投弾」とのみあり。	
24		11:00(1)		【記載なし】(20数弾)	池塘及荒地に各十餘弾	英米仏から抗議あり(大使館の近くを爆撃)。中央党部をねらったはずの可能性あり。	
25	9月22日			【記載なし】(7～8)	路面	中央党部をねらってはならずした可能性あり。	9月23日
26				【記載なし】(10数弾)	民房(房屋毀損五十余間)	死傷者四十数人。	
27		13:15(2)		浦口及京滬車站一帯(10数弾)	民房数十間、和記洋行台船(1弾)	中央党部をねらってはならずした可能性あり。	
28		9:30(1)		【下関】	首都電廠(多少の損傷)	日本軍は、城内に侵入しようとする。	
29		12:30(2)		洪武路(3)	中央通訊社(社屋全壊)	和記洋行はイギリス商社。	
30				江東門外	中央広播電台(機械の部品が破損)	9月25日の空襲は、9:30-16:30の間に5回(番号28～42)。	
31		不明			衛生署	労働者3人が負傷。	
32		不明		【中山東路】	中央医院付近一帯	江東門は南京城の西郊。	
33		不明		四牌楼	衛生事務所分所		
34		不明			広東医院	死者1名、負傷者9名。	
35	9月25日	不明			中山汽車行	死者3名、負傷者6名。	9月26日
36		不明		三條巷	一帯の房屋	死者10余名、負傷者20余名。	
37		不明		江東門	一帯の房屋	死者6名、負傷者10余名。	
38		不明		建康路	一帯の房屋		

39	不明	門東	一帯の房屋	死者8名、負傷者10余名。	
40	不明	辺營	一帯の房屋		
41	不明		〔中央〕党部		
42	不明		法国哈瓦斯通訊社南京分社		
43	10:00(1)	八卦洲(数弾)		浦口方面に入る前に民国軍と戦闘になる。	
44			津浦路局が損傷(車房、水塔、車輛軌道)		
45		〔浦口〕(10数弾)	浦口小学校(校舎の一部が毀損)		9月28日
46	9月27日		扶輪小学校(校舎の一部が毀損)		9月29日
47	12:40(2)	小河南下碼頭	民房の毀損		
48		合成街	民房の毀損		
49		三汊河(5)		フランス軍艦から200mの地点(河口か)。	
50	9月28日	〔記載なし〕		市内上空に7機入るも、民国軍の高射砲を受けて投弾せずに引き返す。	9月29日
51	10:00(1)	大校場一帯		空襲の時間は、10:00-12:30。	
52	10月6日	大校場附近(10余弾)			10月7日
53	20:00(3)	浦口・京郊		偵察のみ。	
54	10月12日	光華門外(26)	少数の民房が毀損		10月13日
55		水佐宮五号【門東】	楊宅	日本軍機が家屋に墜落。	
56	10月16日	〔光華門外〕郊野(数弾)			10月17日
57	10月18日	〔光華門外〕郊野(数弾)			10月19日
58	10月19日	郊外(10余弾)			10月19日
59	10月21日	大教〔校〕場飛行場	軽微な毀損	「投弾」とのみあり。	
60		浦口	津浦路輪渡碼頭(簡単には修復不可能)	「投弾」とのみあり。	
61	10月22日以前	〔中華路・長樂路〕	考棚小学(新樓房東北面が爆弾で破損し、教室が全壊)		
62	10月22日以前	〔洪武路・中山路〕	鄧府巷小学(大礼堂西北・旧教室北面・厨房が爆弾で毀損。他も戸や窓が破損)		
63	10月22日以前	〔秦淮河北岸の城内西側〕	徐家巷小学(付近に爆弾が落ち、中級教室の戸や窓が破損)		10月22日
64	10月22日以前		香舖營小学(付近に爆弾が落ち、巨石が入ってきて、屋内の書棚？が破損)		
65	10月22日以前	〔磨盤街の西隣〕	荷花塘小学(機銃掃射で戸や窓が破損)		
66	10月22日以前	〔王府園〕	承恩寺小学(屋根、戸・窓が破損)		
67	10月22日以前		小学操場(爆弾があたり、廁所・教室の戸や窓が毀損)		
68	10月22日以前		駟■巷小学(第二進樓房六間に爆弾があたり破損。校具や第一進の戸や窓も損害)		
69	10月22日以前		方家■初小(教室一間に爆弾があたり、校具破損)		
70	10月22日以前		私立孝孺小学(教室一進・校具破損)		
71	10月22日以前		崇混代用小学(教室二進・校具破損)		
72	10月22日	大校場附近(数弾)			10月23日
73	10月23日	大校場(数弾)	一部の房屋毀損		10月24日
74	10月26日	飛行場左近(数弾)	飛行場内に数箇所穴があく	場所は大校場(表3番号58記載より)。	10月27日
75	11月10日	大校場附近(数弾)	損害なし	場所は「光華門外機場附近」。	11月11日
76	11月11日	大校場附近(10数弾)		場所は「光華門外大校場附近」。	11月12日
77	11月15日	大校場附近(20余弾)			11月16日
78	11月22日	〔記載なし〕		11月22日は2回空襲があり、1回目は7:00頃。	11月23日

79			光華門外(数弾)			
80	11月24日	13:30	二郎廟			
81			遊府西街			
82			碑亭巷			
83	11月25日	13:30	光華門外(10余弾)			

投弾数は1日合計で10余弾。

1日合計で民房数十間

11月25日

11月26日

註: ①「到達時刻(次数)」にある「次数」は、一日に複数回の空襲があった場合の何回目であることを示す。
 ②「到達時刻(次数)」「爆撃時刻」は、中国時間(日本時間より1時間遅い)。
 ③「爆撃地点(投弾数)」にある「」は、記事の文脈から筆者が推定した場所であることを示す。
 ④「爆撃地点(投弾数)」にある【】は、当該地名の所在地を分かりやすくするために、整理を行った筆者らが情報を追加したものであることを示す。
 ⑤記事はあるが、地理的な情報がない場合は、「爆撃地点(投弾数)」を「[記載なし]」としている。また、建築物の名称などの手がかりはあるが場所を特定できていないものは、空欄になっ

表3. 申報

番号	日付	時刻	爆撃地点(投弾数)	日本側編成	日本側被害	備考	情報元	『戦史叢書』の記述
1	8月12日							長谷川長官が大湊令第十二号により、敵の攻撃があれば機を逃さず敵の航空戦力を撃破するよう指示を受ける。
2	8月13日							14日に爆撃を行うことを予定。 12時15分—中国空軍のマーチン庫意双発爆撃機が租界上空(上海か?)に飛来し、示威行動。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.340)
3	8月14日							軍シナ海に低気圧。 5時30分—長谷川長官が天候の回復まで空襲を見合わせよう発令。 10時50分—中国空軍の戦闘機3機、爆撃機1機が上海特別陸戦隊本部を空襲。 10時55分—爆撃機5機が呉淞沖の第人戦隊を空襲。 11時22分—爆撃機3機が旗艦出雲を空襲。 11時40分—長谷川長官が天候の回復を待たずに中国空軍の航空戦力を覆滅することを決め、攻撃を下命(南京は含まない)。 19時00分—長谷川長官、14日の中国空軍空襲を考慮し、15日の空襲を決定(南京を含む)。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.341～342)
4		13時30分		重爆撃機16機、2～3隊に分かれる。	6機撃墜	迎撃され撤退。 台湾台北の基地を経由して日本軍機は来ている。 15時30分に警報が発報された。	中央社電、申報専電	
5		13時45分	◆中正路(1)、明故宮(2)	8機ずつ2つの分隊に分かれる		3時20分には日本軍機は東南方面に撤退。 同日2つめの中央社電の記事には、 ・15日の空襲は一時間半にわたって行われ、計11個の爆弾が投下された。南郊に落下したのは6つで、1つは不発弾。城内に落ちたのは5つづつは不発弾だったこと。 ・三菱41号を撃墜のこと。 ・本更津海軍航空隊の飛行機が墜落したこと。 についての記述がある。 同日3つ目の中央社電には、 ・13時15分に警報が鳴り、45分に日本軍機が南京上空に現れ、中正路に1弾、明故宮に2弾の爆弾を落とす逃げ去り、3時30分に警報が解除されたこととある。 台北から三時間かけて飛んできて爆弾を落とした。 8月15日の2回目の空襲については記述なし。	中央社電	5時30分—空母加賀より九四式艦爆16機、九六式艦攻13機、八九式艦攻16機発進。うち九六式艦攻が南京に向かうが、天候不良のため引き返す。 木更津海軍航空隊九六式艦攻20機による空襲。14時50分～15時30分にかけて爆撃し、16機帰投。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.343～346)
6	8月15日	13時55分		六式陸上攻撃機(九六式陸上攻撃機のことか)	6機撃墜		中央社電	
7		14時	◆明故宮飛行場(2)、光華門外(5)	爆撃機16機、3分隊に分かれる 250キロ爆弾、500キロ爆弾装	6機撃墜		路透電	
8		15時30分	◆通済門・明故宮付近(7) ★新街口大陸銀行、妙機公司	250キロ爆弾装備	7機撃墜		申報専電	
9		6時		5機		南京郊外で迎撃され撤退。 8月16日は、5回にわたって日本軍機が来襲したとあり(「中央社電」とは異なる)。	申報専電	
10	8月16日	11時20分				南京郊外で迎撃され撤退。 8月16日は、4回にわたって日本軍機が来襲したとあり(「申報専電」とは異なる)。	中央社電	10時55分—衛戍航空隊が句容飛行場を爆撃し、その帰途に南京を爆撃。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.347)
11		午後		各、回数に5機ずつ		防空網を築いていた中国軍に迎撃され撤退。 2～5回目までの攻撃については述べたもの。	申報専電	
12		12時または16時30分のどちらか	◆東南門外(10数弾、その内、飛行場から2マイルの地点に2弾)	重爆撃機8機	3機	安徽省の広徳より援軍にきた中国軍機が迎撃。	路透電	宋明—長谷川長官が漢口、九江、南京、徐州への爆撃を命令。 13時30分—九六式艦攻7機は南京火薬廠、南京兵器廠を爆撃。 20時00分—九六式艦攻14機が軍官学校、国民政府参謀本部を爆撃、全機帰投。高度3000m以上の高高度爆撃と日没前の空襲。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.349～350)
13	8月19日	19時30分		10数機	2機	墜落したうちの1機の搭乗員は、1名が死亡していたが、5人が軽傷(歯軋をもつて逃走したため追跡していいところ)。 爆弾がさく裂する音を皆が聞いた、と記述あり。	中央社電、路透電	
14	8月21日	18時		数機		南京近郊で迎撃される。 皇出しによれば、象山洋方面に日本の航空母艦あり。 8/21付タリの記事に、前日に日本軍兵士の捕虜を南京に送ったとの記述あり(空襲はしていないと思わ	申報専電	

15	8月22日	19時45分	◆郊外(2)	重爆撃機3機		夜間のため、探照灯を照射した。	中央社電	21時30分一木更津海軍航空隊が大校場飛行場を第一次爆撃。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.351) 1時40分一木更津海軍航空隊が大校場飛行場を前日に続いて第二次爆撃。 18時00分一南京空襲が命令される。 21時45分一鹿屋の部隊の空襲が中止に。 21時50分一木更津航空隊の第一次攻撃隊2機が発進。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.351～ 1時00分一前日秦淮の第一次攻撃隊が南京警備司令部を爆撃。目標誤認のため効果なし。 1時40分一長谷川長官から一方回指揮官へ「南京政府が動揺しており、奥地に移動するとの情報があるの、さらに徹底的に南京を空襲すること、兵工廠、憲兵司令部を攻撃目標に加えるよう申し出。 2時00分一戸塚指揮官から南京空襲の命令。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.353) 1時40分一木更津航空隊のうち4機(九六式陸攻か?)が南京に到達し、爆撃。 2時20分一木更津航空隊の残り4機が南京に到達し、爆撃。8機中1機が撃墜される。 4時00分一鹿屋航空部隊6機が南京の兵器廠を爆撃。全機帰投。 17時00分一軍令部から戸塚司令官(指揮官から表記変わる)と第三艦隊参謀へ「南京空襲はすでに大きな成果を得ているので当分空襲を行わないように」と申し出る。南京空襲を当分見合わせる事が決定。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.353) 8/25の揚子江以南沿岸中国船舶航行遮断に対して南京政府が報復として日本軍艦、船舶の爆撃を宣言。南京への中国空軍増強が始まる。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.403) 第二十九駆逐隊及び旗艦夕張が中国空軍の爆撃を受ける。長谷川長官が16日以降の南京反復攻撃を下す。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.353) 長谷川長官の命令に基づき、2回にわたり、南京爆撃を実施。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.405～406)
16	8月23日							
17	8月24日	0時ごろ	◆郊外(2)	4、5機		南京上空に侵入を図るも失敗し、撤退。 南京上空に侵入を図るも失敗し、撤退。	中央社電	
18		20時ごろ		重爆撃機2機	2機		中央社電	
19	8月26日	1時	◆中央大学実験中学、遺族学校、城中省三医院房屋			日本軍が文化施設を爆撃しているという見出しで、過去の爆撃を批判している(8月29日の記事)。 『戦艦誌報』『中央日報』の記事から、27日未明の誤りと思われる。	中央社電	
20	8月27日	0時	◆郊外(数弾)	21機			中央社電	
21	9月8日							
22	9月14日							
23	9月19日	8時45分	◆江東門付近(数弾)、李家苑、下江考棚、白酒坊、評事街、教少宮、中華路、中央広播電台、自来水管(2)、飛行場、兵工廠	46機中20数機が南京上空に到達	南京に侵入した20数機中6機	見出しによれば蘇州の駅が空襲に遭い、難民数百人が死亡 報道元ごとに日本軍機数に違いあり。 民家50数軒が爆撃された。 城内のうちの市民が密集しているところに爆撃が行われた。 9月20日の3回目と4回目の空襲の際には、日本の重爆撃機一機に戦艦機2機が随伴。 平民の死者多数。 この日の何回目の爆撃であったか不明のため、まとめて載せる。	中央社電、申報専電、路透社	
24		午後	◆南城・大平路西の自来水管付近(数弾)	爆撃機・戦艦機合わせて15機		16時45分に警報解除。	路透社	
25	9月20日	10時10分	◆中華門の外の西街香鋪堂、鄧府巷の民家(数カ所)、南京城南	2隊、50機	4機	見出しによれば蘇州の駅が空襲に遭い、難民数百人が死亡 報道元ごとに日本軍機数に違いあり。 民家50数軒が爆撃された。 城内のうちの市民が密集しているところに爆撃が行われた。 9月20日の3回目と4回目の空襲の際には、日本の重爆撃機一機に戦艦機2機が随伴。 平民の死者多数。 この日の何回目の爆撃であったか不明のため、まとめて載せる。	申報専電、中央社電	2回の南京爆撃が行われる。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.406)
26		不明	◆中央大学、挹江門、和平門、兵工廠、自来水管、明故宫飛行場、紫金山嶺氣象台、馬路、国府路、中山路北段	1回目・2回目はそれぞれ12機 3回目は25機、四次は3機			中央社電	
27	9月22日	10時35分	◆中央黨部(5)、油庫、茶棧(10数弾)、路面(7～8)、民家(10数弾)、アメリカ・イタリア・ドイツ大使館所在の住宅区、南京への出稼ぎ労働者などの住宅区、飛行場、兵工廠、その他軍	10数機～20数機	4機～8機	城南と城西北で火事が発生し、4回にわたる爆撃 30カ所が爆撃を受け、見出しによれば、爆撃は下関の難民収容所と新住宅区に行われた。	急電(9/22夕刊)、二 十一日ママ中央社 電、路透社	3回にわたって爆撃を実施。 (72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.406)
28		13時15分	◆英商和記洋行一帯【船(1)、門前】、浦口・京滬車站(10数弾)	21機		イギリス商社の和記洋行一帯が爆撃された際に、当該商社の小型船に着弾する。 9月24日の記事に9月22日の爆撃についての記述。大行宮に日本軍機が墜落。	中央社電、二十一日 (日付はママ)中央社 電	
29	9月22日	13時50分	◆新住宅区、山西路口の中山路(1)、夏路口の小山の上(2)、中国銀行後ろの住宅区(7)、電報局付近(数弾)、秦淮河(3)	15機		『申報急電』では、日本軍機は投弾することなく撤退したとされている。	路透社、急電(9/22 夕刊)	

30	不明	◆イギリス商社国際出口会社の浮き橋(1)、下関の難民収容所			4機	死傷者は200人を超えない程度。日本軍の爆撃の目的は中国軍の抵抗の決心を撃破することだとしている。	路透社	
31	9時		29機			四郊付近で空戦	急電(9/25夕刊)	
32	9時30分	◆下関電廠・市内各所(数弾) ★市内へは機銃掃射も行う	31機中10数機が南京上空に侵入	5機		9月25日は5回にわたって空襲が行われ、日本軍機は総数96機、投弾数は200以上とされる。この内容は一次のもの。	中央社電	
33	11時～12時		10数機			南京上空で空戦。	急電(9/25夕刊)	
34	12時30分～50分	◆洪武路の中央通信社総社(3)、江東門外の中央広播電台の中心区(6)、財務部の海關公署付近、自来水廠・広播電台付近(多弾)	21機			中央通信社総社の社屋全てが爆撃を受けた。9月25日の空襲5回中2回目もの。	中央社電、路透社	
35	14時	◆下関太古公司碼頭付近(2)、イギリス商社の祥泰木行公司(1)、路透社の周圍五百ヤード以内(6)		4機		死傷者は百名以上。今日の日本軍の爆撃の目的は自來水廠と電力廠とする。	路透社	4回にわたり爆撃を実施。 (172)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.406 ※戦史叢書では、8月のこととしているが、誤植と思われる(一筆者註)。
36	不明	◆衛生署中央医院付近一帯、四牌樓、衛生事務所の分所、広東医院、商店、民家、中山汽車行、三条港、江東門、建康路、中華門門裏の辺營				9月25日の空襲5回中、何回目かは不明。	中央社電	
37	不明	◆新街口江蘇銀行の門の前(1)、海通社南京分社、美聯社、民家				9月27日の記事に9月25日の爆撃についての記述。中央社電では、9月27日は3回にわたって攻撃があったとしており、その1回目にあたるもの	国民社電	
38	10時ごろ	◆八卦洲(数弾)	11機			9月29日付『申報』に掲載された28日付「中央社電」記事に記載。	中央社電	
39	午後	◆津浦路局、浦口(10数弾)、車房、水塔、車回軌道、小河南一帯の民家						
40	12時30分～40分	◆本城裏・南都自電線(10数弾)、光華門の外の軍用飛行場、南門の外の兵工廠、浦口(10数弾)※津浦路局、浦口小学校、扶輪小学校、碼頭合成街を含む	9機(大校場方面)、17機(浦口方面)	1機			中央社電、路透社	
41	10時					南京が爆撃されたとあるが、どこが爆撃されたかは不明。	申報專電	
42	10時以降	◆大校場飛行場	11機中陸爆撃機7機が南京上空に侵入	1機			申報專電、中央社電	
43	14時45分	◆大校場飛行場付近(4～10数弾)		不明			申報專電、中央社電	
44	14時30分	◆光華門の外(26弾)※付近の家屋への爆撃も含む。	重爆撃機9機、戦闘機6機	5機		門裏水佐堂5号楊宅に日本軍機墜落。	中央社電	
45	15時40分	◆南門の外(数弾)	重爆撃機3機、戦闘機6機	2～3機			申報專電、路透社	
46	9時30分	◆大校場飛行場(6)	爆撃機6機				申報專電、急電(10/13夕刊)、中央社電	
47	10時	◆光華門の外(10数弾)	11機中重爆撃機が6機侵入				中央社電、路透社	
48	17時	◆光華門の外(6)	5機				中央社電	
49	14時30分以降	◆郊野(3以上)	3～15機			光華門上空にまで日本軍機が到達した。	中央社電、中央社電	第一三航空隊が南京空襲を実施。 (172)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.415
50	14時50分	◆光華門の外(8)	8機			東南方上空に日本軍機が到達。	申報專電、中央社電	第一三航空隊が南京空襲を実施。 (172)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.416
51	2時20分	◆東南門の外(10数弾)	6機			大校場飛行場が目撃と書かれる。市内全域が爆撃音で震えた。	路透社	
52	4時	◆不明				光華門の外を爆撃の後、日本軍機は浦口に向かった。	中央社電、路透社	
53	12時30分以降	◆光華門の外(数弾)、浦口(数弾)※浦口は火車輪渡、付近の家屋、津浦輪渡を含む。					路透社	
54	14時35分以降	◆武定門付近、富貴山の東、下関輪渡、浦口輪渡					中央社電	
55	13時ごろ	◆南門外の飛行場付近(24弾)※兵工廠を含む。	爆撃機6～9機、戦闘機4機				中央社電、路透社	
56	13時以降	◆大校場飛行場、津浦路輪渡碼頭、浦口車站(6)	11機が大校場へ3機が浦口へ			日本軍機は黒い煙のようなのと大量の伝單を投下した。	中央社電、路透社	
57	15時30分以降	◆大校場付近(数弾)	1～8機			日本軍機は高高度から爆撃した。	中央社電、路透社、路透社ママ電	
58	16時ごろ	◆大校場飛行場の左(数弾)				日本軍機は高高度から爆撃した。飛行場にくっつかの穴ができた。	中央社電	
59	13時ごろ	◆大校場飛行場(4～5)	重爆撃機3～9機、戦闘機6～9				中央社電、路透社	

60	11月11日	13時30分～	◆光華門の外(10数弾)※光華門の飛行場、南門の外(其口を含む)	重爆撃機9機・戦闘機6～9機	1機	左の構造物以外に、江蘇鎮でも対空砲火を浴び、日本軍機が機撃墜された。	中央社電、路透社	
61	11月15日	15時ごろ	◆大校場飛行場付近(20数弾)	軽爆撃機6機			中央社電	
62	11月24日	13時30分以降	◆国民大芸巨厦広城の東南の隅(1) 中山路の東(1) 李西中学房屋(1)、貧民街(10数弾)	重爆撃機4機、戦闘機2機			路透社	九五式陸攻3機、艦戦9機、艦爆6機が電話局を空襲。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.508～509)
63	11月25日	13時30分	◆大校場飛行場(12以上)	20機			路透社、申報專電	艦戦9機、艦爆5機が大校場飛行場を空襲。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.509)
64	12月2日							12時15分～一九六式艦攻8機、九六式艦戦6機が南京を空襲。艦攻は大校場飛行場を爆撃。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.510)
65		11時30分	◆兵工廠、大校場飛行場付近	5機	4機		路透社、出典なしの記事	艦戦21機、艦爆12機が南京に向かうも中国軍機が無く、付近の飛行場を爆撃。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.510～511)
66	12月3日	13時30分	◆光華門の外(数弾)	15機中3～4機侵入	2機	中国軍機が1機墜落した。	路透社、出典なしの記事	
67		不明	◆哥爾夫球場付近(多数)	3機			路透社	
68	12月4日	11時	◆明故宮飛行場(5)				路透社	
69	12月4日	正午	◆大校場飛行場、その他軍事機関				同盟社	九六式陸攻3機、艦戦9機、艦偵1機が明故宮飛行場を爆撃。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.511)
70	12月5日	11時10分	◆逸仙橋の東側右手の河岸一帯(20数弾)、民家、中山門の外から西華門大街の間にある貧民区域			日本軍機のうち2機が低空を飛び、硫黄弾を10数弾投下した。	路透社、出典なしの記事	九六式陸攻3機、艦戦3機が明故宮飛行場格納庫を爆撃。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.511)
71		9時45分	◆明故宮飛行場の西側の貧民区域	6機		考試院附近で爆弾が爆発。	路透社	
72	12月6日	13時30分	◆浦口車站付近(10数弾)	20数機		日付は発行日からの推測。	路透社、出典なしの記事	
			※津浦路局第八号第十号貨棧を含む			アメリカ船が浦口に停泊していた。日本軍は8回にわたって爆撃を行った。	同盟社、美聯社	
73	12月7日	不明	◆南京の中国軍陣地、浦口車站・下関(10数弾以上)	17機		日本軍が大校場飛行場を占領。	同盟社、路透社	
74	12月8日	午後	◆大校場飛行場、南京周辺の中国軍					
75	12月10日	不明				日本軍機が要求を記したものを中国軍に投函。		艦爆が正午前後に中山門、光華門、通済門、敵陣地その他を爆撃。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』pp.511～512)
76	12月11日	不明	◆城内、南京を守る中国軍			日本軍の爆撃で南京城内全域で火事が発生した。南京城周囲の中華門、光華門、中山門、太平門、通済門で陸上部隊が戦闘中。	不明、路透社	艦攻、艦爆が明故宮飛行場を爆撃。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.512)
77	12月12日	不明	◆パナイ号				不明	艦爆、艦攻、艦戦が南京城内の陣地と浦口を終日爆撃。 南京城を完全に占領。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦(1)』p.512)
78	12月13日							

註： ①「日付」の背景に色がついているものは、『申報』に記述がなく、『戦史叢書』の記述のみによることを示す。
 ②「時刻」「備考」にある時刻は中国時間、『戦史叢書』の記述は日本時間(日本時間の方が中国時間より1時間早い)。
 ③「爆撃地点」は、◆を付したものの(原稿では「赤字」)が爆撃によることを、★を付したものの(原稿では「青字」)が機銃掃射によることを示す。また※は、記事を整理した筆者三名による註記である。

表4. 戦闘詳報・戦闘概報

日付	攻撃部隊	爆撃時刻及び爆撃高度	計画時攻撃目標	計画時攻撃使用機体及び機体数	攻撃使用兵器	爆弾投下数	命中場所及び損害状況	墜落機体数	備考
8/15	木更津海軍航空隊	14:50 500m 15:05 400m 15:30 600m	南京大校場飛行場	九六式陸上攻撃機 20機 大校場飛行場(12) 故宮飛行場(8)	250kg陸用爆弾 各機2弾 7.7mm防弾機銃弾倉 一丁につき3個 合計 250kg陸用爆弾 40弾 7.7mm防弾機銃弾倉 180個	19弾	格納庫三棟各1発ずつ命中 うち二棟が炎焼 飛行機14機以上爆破 兵舎二棟各1発ずつ命中 飛行場3発命中	4機	当日台風による悪天候の影響で低高度爆撃を実施 実際に攻撃を行った機体数は16機である
		15:03 500m 15:25 600m	南京故宮飛行場			11弾	格納庫一棟爆破し2発命中 飛行機数機爆破		
8/19	鹿屋海軍航空隊	13:25 4000m	南京火薬廠	九六式陸上攻撃機 9機 南京火薬廠(6) 南京兵工廠(3)	250kg陸用爆弾 各機2弾 合計 250kg陸用爆弾 18弾 7.7mm防弾機銃徹甲弾 計260個 7.7mm防弾機銃曳光弾 計90個	10弾	火災発生、黒煙上がる	1機	元々は南京火薬廠へ全機攻撃であったが、目標変更のため南京兵工廠へ攻撃を実施 1機が攻撃前に離脱
		13:25 4000m	南京兵工廠			6弾	火災発生		
		20:00 2900m 20:00 3000m 20:04 3000m	南京軍官学校	九六式陸上攻撃機 16機 南京軍官学校(9) 南京国民政府参謀本部(7)	250kg陸用爆弾 各機2弾 7.7mm防弾機銃弾倉 一丁につき5個 合計 250kg陸用爆弾 32弾 7.7mm防弾機銃弾倉 80個	18弾	兵舎八棟爆破 火災発生 建物前方に5発着弾	なし	2機が出撃前にバンクによって出撃できなかったため実際に行った機体数は14機 空戦がなく、機銃の消費が確認できるため、機銃掃射を行った可能性あり
8/22	木更津海軍航空隊【概】	20:00 2900m 20:01 3000m	南京国民政府参謀本部			10弾	国民政府参謀本部内に7発 建築物手前(銀行等)に3発命中		元々は南京中央党部を目標としていたが、他に移動したことや、附近に外国大公使館があるため避けた
		21:00 2500m 25:40 2800m	兵器廠または新飛行場 新飛行場はどこか不明	九六式陸上攻撃機 6機 第一次攻撃(3) 第二次攻撃(3)	250kg陸用爆弾 各機2弾 合計 250kg陸用爆弾 12弾 7.7mm防弾機銃の使用数[は不明]	11弾	第一次…探照灯群へ投下 花台」附近に命中 第二次…飛行場南端の揚虎城に命中	なし	
8/23	木更津海軍航空隊【概】	25:00 3500m	警備司令部 (軍官学校南隣)	九六式陸上攻撃機 4機 第一次攻撃(2) 第二次攻撃(2)	250kg陸用爆弾 1機2弾 60kg陸用爆弾 1機12弾 7.7mm防弾機銃の使用数[は不明]	250kg…2弾 60kg…12弾	玄武湖中央附近に着弾 (警備司令部の標準を見誤る)	なし	夜間において天候が回復してきたため、第二次攻撃は取り止めた
8/24	木更津海軍航空隊【概】	21:30 1500～2500m	南京城外飛行場 (南京大校場飛行場)	九六式陸上攻撃機 6機	60kg陸用爆弾 各機12弾 合計 60kg陸用爆弾 72弾 7.7mm防弾機銃の使用数[は不明]	60kg…71弾	ほぼ全弾が飛行場内飛行機に命中し炎上	なし	飛行場内の航空機に対する攻撃を実施
8/26～8/27	木更津海軍航空隊	第一次攻撃 25:30 3000m 25:35 3000m	憲兵団及び航空署	九六式陸上攻撃機 8機 第一次攻撃(4) 第二次攻撃(4)	60kg陸用爆弾 各機12弾 合計 60kg陸用爆弾 96弾 7.7mm防弾機銃弾倉 120個	60kg…72弾	憲兵団、航空署、及び附近の官衛銀行街にほぼ全弾着弾し火災発生	1機	第一次攻撃にて一回爆撃をやり直したため、敵戦闘機と空戦になり、1機は天長(高郵山西岸)にて墜落
		第二次攻撃 26:26 3000m 26:23 3000m	軍官学校及び警備司令部			60kg…24弾	軍官学校及び警備司令部に多数命中		

鹿屋海軍航空隊	03:58	3000m	兵器廠	九六式陸上攻撃機 6機 兵器廠(3) 南京市街(銀行街)(3)	60kg陸用爆弾 各機12弾 合計 60kg陸用爆弾 72弾 7.7mm防弾機銃の使用数は不明	60kg…36弾	兵工廠に全弾命中 大火災発生	なし	攻撃当時月明かりがあるものの南京附近には断雲があった 十数回探照灯の照射を受け爆撃困難となり何度も目標発見のための確認を行い爆撃した
	03:58	2900m	南京市街(銀行街)			60kg…36弾	市街(銀行街)に全弾命中 火災発生		
第13航空隊 (戦爆連合部隊)	午前 10:30	2000～ 3000m	南京附近敵飛行機	九六式艦上爆撃機 18機 実際に攻撃した機体数 九六式艦上爆撃機 17機 兵工廠(5) 放送局(6) 大校場飛行場格納庫(6)	60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 36弾	60kg…34弾	兵工廠に直撃弾1発 放送局と大校場飛行場格納庫一棟それぞれに命中し3機火災発生 戦闘機15機撃墜		九六艦戦・九六艦爆と中国機との空戦が行われる 目標は敵飛行機であるが、飛行機が発見できなかった場合、南京市街の軍事政治経済施設を攻撃することが決められていた 1機が発動機不調の為に引き返す 急降下爆撃実施
	午後 16:50	2000m	南京附近敵飛行機 南京防衛司令部並びに附近市街	九六式艦上爆撃機 12機 実際に攻撃した機体数 九六式艦上爆撃機 11機 南京防衛司令部(11)	60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 24弾	60kg…22弾	南京防衛司令部に8発命中 戦闘機1機撃墜	なし	午前の作戦とほぼ内容が同じである 1機が発動機不調の為に引き返す 急降下爆撃実施
第13航空隊 (戦爆連合部隊)	11:58	2000～ 3000m	国民政府及び参謀本部 中央広播無電台	九六式艦上爆撃機 12機 国民政府及び参謀本部(6) 中央広播電台(6)	250kg陸用爆弾 各機1弾 合計 250kg陸用爆弾 12弾		国民政府参謀本部に3発 附近の建物に3発命中 中央広播電台に命中するも効果は不明	1機	九六式艦上戦闘機の護衛あり 急降下爆撃実施 爆撃隊は極力戦闘機との交戦は避けるように命令しており、交戦やむなしの場合は携行している爆弾をその場で投下して交戦せよとしている 単独行動は禁止しており、複数機で行動することとを命じている 1機爆撃後行方不明となつたことから墜落と判定
							雨花台砲台附近にほぼ命中		基地発進 九六式艦上戦闘機2機の

9/20

	航空母艦加賀航空隊(戦爆連合部隊)	13:00	2000m	雨花台砲台 富貴山砲台 大校場飛行場	航空母艦加賀所屬 九六式艦上攻撃機 11機 雨花台(6) 富貴山(5) 九四式艦上爆撃機 九六式艦上爆撃機 計15機	九六式艦上攻撃機の装備 250kg陸用爆弾 6機 12弾 60kg陸用爆弾 5機 30弾 九四式・九六式艦上爆撃機 60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 30弾	艦攻隊 250kg…12弾 60kg…30弾 艦爆隊 60kg…26弾	市中に数弾おそらく60kg12弾)落下 富貴山砲台附近に命中 弾火薬庫命中により火災発生 敵戦闘機 機撃墜 大校場飛行場各種施設に 損害多数 飛行場の一部の飛行機爆 破 敵戦闘機 1機撃墜	なし	護衛と水上機母艦神威・八戦隊・二十二空の九五式水上偵察機(水偵)13機 雨花台に向かった艦攻隊のうち2機が照準を誤り市中に投下した 教育部長宛の文書中に飛行場にある飛行機が本物か偽物か不明とある 艦爆隊の爆弾30発のうち4発については不明 おそらく空戦中にやむを得ず投下した可能性がある
9/22	第12航空隊(戦爆連合部隊)二連空	12:05	2000m	航空署 防空委員会	九六式艦上爆撃機 12機 航空署(6) 防空委員会(6)	60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 24弾	60kg…24弾	航空署及び防空委員会に 数回命中 石官街及び附近の市街に 弾着 二か所で火災発生	なし	木更津航空隊の九六式艦上戦闘機4機の護衛と水上機母艦神威の九五式水偵7機の偵察・観測あり 目標の命中が少ないのは敵戦闘機及び対空砲の妨害によるものであると考えられる
	第13航空隊(戦爆連合部隊)	12:15	2000m	中央党部	九六式艦上爆撃機 14機	60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 28弾	60kg…28弾	中央党部に24発全弾命中 戦闘機4機撃墜	1機	九六式艦上戦闘機の護衛あり 急降下爆撃実施 1機爆撃後行方不明となったことから墜落と判定
	航空母艦加賀航空隊(戦爆連合部隊)	15:00	高度不明	南京停車場及び周辺の倉庫	航空母艦加賀所屬 九六式艦上攻撃機 6機 九四式艦上爆撃機または 九六式艦上爆撃機 4機 実際には 九六式艦上攻撃機 4機 九四式艦上爆撃機または 九六式艦上爆撃機 4機	九六式艦上攻撃機の装備 250kg陸用爆弾 4機8弾 60kg陸用爆弾 2機12弾 九四式または九六式艦上爆撃機 60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 8弾	艦攻隊 250kg…6弾 60kg…6弾 艦爆隊 60kg…8弾	南京北停車場及び江刃車站、附近倉庫にほぼ命中し 火災発生	なし	加賀航空隊九六式艦上戦闘機3機の護衛と八戦隊・二十二空の水偵7機の偵察・観測あり 教育部長宛の文書中に、南京進撃中艦攻2機が故障の為引き返し、江陰水雷重に250kg爆弾2発、60kg爆弾6発投下し命中とある
	第12航空隊(戦爆連合部隊)二連空	午前11:00	低空	下関電灯廠	九六式艦上爆撃機 11機	60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 22弾	60kg…22弾	電灯廠にほぼ全弾命中 火災発生 南京の電源のほとんどを喪失という見込み	2機 内1機不時着	第十三航空隊と協同で空襲を行う 対空砲火を受けつつ低空爆撃を実施 1機が高角砲(対空砲)弾が命中し電燈廠附近に墜落 1機が江陰上流約10里に不時着水

9/25	第13航空 隊(戦爆連合 部隊)	11:00 2000～ 3000m	中央党部 市政府	九六式艦上爆撃機 12機 中央党部(6) 市政府(6)	60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 24弾	60kg…24弾	中央党部に8発命中 市政府に4発命中 他附近の市街にも命中	1機	九六式艦上戦闘機8機の 護衛あり 急降下爆撃実施 爆撃の際、一機が高角 砲(対空砲)弾に命中し撃 墜、市政府附近に墜落
	航空母艦 加賀航空 隊(戦爆連合 部隊)	13:55 高度不明	中央広播無電台 財政部	航空母艦加賀所屬 九六式艦上爆撃機 10機 九四式艦上爆撃機または 九六式艦上爆撃機 9機 中央廣播無電台 艦攻(4)艦爆(5) 財政部 艦攻(6)艦爆(4)	九六式艦上攻撃機の装備 500kg通常爆弾 1機1弾 300kg爆弾 1弾と60kg陸用爆弾3弾の 併用 1機 250kg陸用爆弾 3機6弾 60kg陸用爆弾 5機30弾 九四式または九六式艦上爆撃機 250kg陸用爆弾 各機1弾 合計 250kg陸用爆弾 9弾	500kg…1弾 300kg…1弾 250kg…15弾 60kg…33弾	中央廣播無電台に命中し 火災発生 財政部に500kg爆弾1発、 250kg爆弾2発、60kg爆弾3 発命中 財政部、東方軍醫司、郵政 廠附近も爆破	なし	基地発進 九六式艦上戦闘機4機の 護衛と八戦隊・二十二空 の水偵機機の偵察・観測 あり 装備に関しては、おそらく この装備状況であると考 えられるが、詳細は不明
	水上機母 艦神威 水上偵察 機部隊	時間不明 高度不明	南京兵工廠	九五式水上偵察機 6機	30kg爆弾 各機2弾 合計 30kg爆弾 12弾	30kg…12弾	兵工廠に6発命中 附近に3発命中	なし	水上機母艦神威から13: 15に発進 爆撃時間・高度ともに不 明であるが、この攻撃経 過報告が次の時間の作 戦報告前にあるためここ に記す
9/27	第12航空 隊(戦爆連 合部隊)	午前 16:45 2000～ 3000m	北極閣防空指揮所 交通兵団	九六式艦上爆撃機 11機	60kg陸用爆弾 各機2弾 合計 60kg陸用爆弾 22弾	60kg…22弾	北極閣防空指揮所及び交 通兵団にそれぞれ3～4発 ずつ命中	なし	九六式艦上戦闘機の護 衛あり 急降下爆撃実施 それぞれの目標に向 かった機数は不明 北極閣はベルギー大使 館に近いが大使館への 被害はなかった
	第13航空 隊(戦爆連合 部隊)	午前 16:45 2000～ 3000m	南京軍政部 江辺車站	九六式艦上爆撃機 9機 南京軍政部(6) 江辺車站(3)	250kg陸用爆弾 各機1弾 合計 250kg陸用爆弾 9弾	250kg…9弾	南京軍政部に2発直撃 軍政部は英大使館及び 附近の倉庫が火災・炎上 江辺車站に1発直撃し車站 が大破したと認定	なし	九六式艦上戦闘機の護 衛あり 急降下爆撃実施 軍政部は英大使館及び 仏大使館との距離が近 いので爆撃実施には「深 甚の注意」が必要とある 両大使館への被害はな かった
	第12航空 隊(戦爆連合 部隊) 【概】	11:30 高度不明	南京硫安工場	九六式艦上爆撃機 9機	不明	不明	大型工場二棟 小型工場五棟命中 一部に火災発生	なし	第十三航空隊の九六式 艦上戦闘機3機の護衛あ り 概報の為詳細は不明
	第13航空 隊(戦爆連 合部隊) 【概】	13:40 高度不明	浦口停車場 附近の倉庫	九六式艦上爆撃機 9機	不明	不明	停車場、線路、交差点、列 車などに多大な損害を与え る	なし	九六式艦上戦闘機2機の 護衛あり 概報の為詳細は不明

9/28	第13航空隊 (戦爆連合部隊) 【概】	時間不明 高度不明	大校場飛行場	九六式艦上爆撃機 12機 大校場飛行場(不明) 句容飛行場(不明)	不明	不明	飛行場内の格納庫が大破	なし	九六式艦上戦闘機5機の護衛あり 句容飛行場も攻撃に含まれている 概報の為詳細は不明
10/12	木更津海軍航空隊	15:50 高度不明	大校場飛行場 火薬廠	九六式陸上攻撃機 9機 大校場飛行場(6) 火薬廠(3)	50kg爆弾 各機12弾 合計 50kg爆弾 108弾	50kg…108弾	飛行場の敵戦闘機に相当の被害 火薬廠に30発が命中し火災発生 うち二機に効果大	なし	九六式艦上戦闘機11機の護衛あり 故宮飛行場には敵機がいなかった 大校場飛行場には迎撃のため数機飛行場より離陸していた
10/19	木更津海軍航空隊 【概】	03:20 高度不明	大校場飛行場	九六式陸上攻撃機 4機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 48弾 7.7mm機銃の使用数は不明	60kg…48弾	飛行場に全弾命中 中格納庫に2発、南側・西側飛行機、掩体壕附近に7発 飛行場内で火災発生 地上待機の飛行機も炎上	なし	護衛については不明 敵戦闘機と交戦したが被害なし
		04:50 高度不明		九六式陸上攻撃機 4機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 48弾 7.7mm機銃の使用数は不明	60kg…48弾	格納庫附近に4発、格納庫北側にある附属建物に9発、飛行場南東部に約10発命中 格納庫附近にあった燃料庫らしきもの一機炎上	なし	護衛については不明 雲が多く目標発見に苦労しつつも敵の照射により位置が特定できた 敵戦闘機と交戦したが被害なし
10/20	木更津海軍航空隊	12:30 3000～3300	大校場飛行場格納庫 及び附近兵舎群	九六式陸上攻撃機 9機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 108弾 7.7mm機銃の使用数は不明	60kg…108弾	中央格納庫2発、東部兵舎群に約40発命中 爆撃の効果は不明	なし	九六式艦上戦闘機9機の護衛あり 故宮・大校場飛行場には敵機がいなかった 19日鹿屋部隊が偵察として大校場飛行場の空中写真を取る
10/21	木更津海軍航空隊	12:30 高度不明	浦口停車場 国防硫酸重廠	九六式陸上攻撃機 12機 浦口停車場(6) 国防硫酸重廠(6)	250kg陸用爆弾 各機2弾 合計 250kg陸用爆弾 24弾 7.7mm機銃の使用数は不明	250kg…24弾	浦口停車場では爆弾が偏り命中弾なし 硫酸重廠は西側の大型の一棟に3発、中央一棟に1発命中し火災発生 露天の麦庄所に2発命中し破壊 タンク至近に1発命中し膨張していたタンクが縮小した	なし	九六式艦上戦闘機3機の護衛あり
		14:00 高度不明	大校場飛行場 火薬廠 造兵廠	九六式陸上攻撃機 12機 大校場飛行場(4) 火薬廠(4) 造兵廠(4)	250kg陸用爆弾 1機2弾 60kg陸用爆弾 1機12弾 合計に關しては、不明 7.7mm防衛機銃の使用数は不明	250kg…8弾以上 60kg…70弾以上	飛行場掩体壕附近に約40発、飛行場中央に約30発命中 地上飛行機3機爆破し炎上火薬廠に2発命中 造兵廠に6発命中し炎上	なし	九六式艦上戦闘機の護衛あり 火薬廠で火災が発生しなかったのは爆滅状態であると判断している 造兵廠は火薬廠の南500mのところであることから兵工廠と同じものである

11/10	第一連合 航空隊 (おそらく 木更津海 軍航空隊)	14:05 14:10	3100m 3100m	大校場飛行場 格納庫 兵舎 航空機	九六式陸上攻撃機 3機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 36弾 7.7mm機銃の使用数は不明	60kg…36弾	格納庫に2発 指揮所らしき建物に3発 兵舎に6発 航空機に至近弾であるが 効果が少ない	なし	九六式艦上戦闘機9機の 護衛あり 二連空の九七式艦上攻 撃機2機の追加あり 元々は滁州飛行場の敵 航空機への爆撃も含ま れていたが敵機確認でき ず南京へ向かう 編制爆撃を実施
11/11	鹿屋海軍 航空隊	14:30	3000m	大校場飛行場	九六式陸上攻撃機 9機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 108弾 7.7mm機銃の使用数は不明	60kg…108弾	南側掩体壕(中型5機含む) に約30発命中、四ヶ所で攻 上しほとんど全滅 東側掩体壕(小型5機)に10 数発命中、有効と認める 飛行場に30発命中	1機	九六式艦上戦闘機9機の 護衛あり 天候不良の場合無錫か 蘇州を爆撃する予定だっ た 1機が南京上空にて高角 砲(対空砲)弾を受け墜落
11/15	第一連合 航空隊 (鹿屋海軍 航空隊)	15:55	3300m	大校場飛行場 飛行機	九六式陸上攻撃機 3機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 36弾 7.7mm機銃3丁 1丁につき5つの弾倉 合計 7.7mm機銃弾倉 45個	60kg…36弾	飛行機の北側の飛行場に 17発 飛行機の南側に19発 附近の畑中に落下 効果は少ない	なし	九六式艦上戦闘機3機の 護衛あり 揚州の飛行場の敵飛行 機攻撃もあった 揚州攻撃には艦載9機艦 攻6機と合同であったが、 途中で艦載6機艦攻6機 が分離した 対空砲火を受けつつ攻 撃
11/24	第13航空 隊 一連空上 海派遣隊	14:43	3300m	電話局	九六式陸上攻撃機 2機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 24弾	60kg…21弾	電話局に3～4発命中 内部装置に大損害を与える 他の爆弾は附近の建築物 に命中	なし	九六式艦上戦闘機3機の 護衛あり 九六式艦上爆撃機もい たが攻撃に関しては不明 大校場飛行場も攻撃目 標であったが敵航空機 が少なく(タミー含む)爆 撃価値がないとして電話 局のみ攻撃 敵戦闘機と空戦あり
12/2	第13航空 隊	12:15	4200m	大校場飛行場	九六式艦上攻撃機 8機 第一小隊(3) 第二小隊(3) 第三小隊(2)	第一・第二小隊各機 250kg陸用爆弾 1弾及び 60kg陸用爆弾 2弾 合計 250kg爆弾 6弾 60kg爆弾 12弾 第三小隊各機 60kg陸用爆弾 6弾 合計 60kg陸用爆弾 12弾 総計 250kg爆弾 6弾 60kg爆弾 24弾	250kg…6弾 60kg…24弾	飛行場格納庫附近に60kg 爆弾 12発が命中するも効 果不明	なし	九六式艦上戦闘機6機の 護衛あり 予期せぬ敵戦闘機(連 製ホリカルボフ16・11- 16)の編隊と交戦戦闘機 隊に機銃弾をうけるも全 機帰投とある

12/4	一連空上 海派遣隊	12:04	3300m	南京面飛行場飛行機 又は明故宮飛行場格納庫	九六式陸上攻撃機 3機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 36弾 7.7mm機銃の使用数は不明	60kg…36弾	格納庫及び附近の飛行場 に約20発命中 格納庫は命中の際発火、 黒煙と火災発生 飛行場附近の家屋に命中	なし	第12空・第13空の九六式 艦上戦闘機15機の護衛 と九五式艦上偵察機1機 の偵察あり 編制爆撃実施 市街地の大部分と大校 場飛行場は雲の高視認 できなかったため明故宮 飛行場格納庫を爆撃 爆撃後雲間より大校場 飛行場を偵察し飛行機 がないことを確認 第13空が地上にある敵 戦闘機に対し機銃掃射 を行う
12/5	一連空上 海派遣隊	11:22	3300m	滁県飛行場又は 明故宮飛行場格納庫	九六式陸上攻撃機 3機	60kg爆弾 各機12弾 合計 60kg爆弾 36弾 7.7mm機銃の使用数は不明	60kg…36弾	飛行場に18発命中 ガソリン庫らしき建物及び その他の倉庫に18発命中 黒煙と火災発生	なし	滁県の2つの飛行場への 爆撃であったが、機体発 見できなかったため、明 故宮飛行場格納庫に目 標変更 編制爆撃実施 第12空の九六式艦上戦 闘機9機と九五式艦上爆 撃機6機の合同爆撃で あったが、目標変更後、 艦戦3機を護衛として残り は分離した 対空砲火を受け発動機 などに被害があったが墜 落はなかった

註：①「攻撃部隊」の最後に【概】とあるのは「戦闘概報」に、それ以外は「戦闘詳報」によることを示す。
②「爆撃時刻及び爆撃高度」に出てくる時刻は、日本時間(中国時間より1時間早い)。

出典：アジア歴史資料センター所蔵 南京空襲に関する「戦闘概報」「戦闘詳報」一覧	
	レファレンスコード
「昭和十二年八月十五日南京攻撃戦闘詳報 木更津海軍航空隊」	C14120253500
「昭和十二年十月十五日 戦闘詳報 第六(八月十九日)第一連合航空隊」	C14120254500
「虚空機密第三八号一六 昭和十二年八月十九日 南京攻撃戦闘詳報 鹿屋海軍航空隊」	C14120254600
「昭和十二年八月十九日 南京攻撃戦闘詳報 木更津海軍航空隊」	C14120254700
「昭和十二年十月十五日 戦闘詳報 第九(八月二十二日)第一連合航空隊」	C14120255400
「昭和十二年十月十五日 戦闘詳報 第十(八月二十三日)第一連合航空隊」	C14120255600
「昭和十二年十月十五日 戦闘詳報 第十一(八月二十四日)第一連合航空隊」	C14120255800
「昭和十二年十月十五日 戦闘詳報 第十三(八月二十七日)第一連合航空隊」	C14120256300
「昭和十二年八月二十六日 南京攻撃戦闘詳報 木更津海軍航空隊」	C14120256500
「虚空機密第三六号一五 昭和十二年八月二十七日 南京攻撃戦闘詳報 鹿屋海軍航空隊」	C14120256400
「南京空襲戦闘詳報(其ノ一) [自九月十九日至九月二十五日南京空襲部隊トシテ実施セシモノ] 第十三航空隊」	C14120304200
「二連空機密第九八号 南京空襲部隊戦闘詳報」	C14120288600
「二連空司令官、第二十二航空隊司令」	C14120510600
「支那事変概報第九号 九月一日～第三十八号九月三十日」	C14120674400
「昭和十二年十一月十五日 戦闘詳報 第三十三(十月十二日)第一連合航空隊」	C14120262800
「昭和十二年十月十九日 南京攻撃戦闘概報 木更津海軍航空隊」	C14120382100
「昭和十二年十一月十五日 戦闘詳報 第四十一(十月二十日)第一連合航空隊」	C14120265300

「昭和十二年十一月十五日 戰闘詳報 第四十二(十月二十二日) 第一連合航空隊」	G14120265700
「昭和十二年十二月十五日 戰闘詳報 第六十(十一月十日) 第一連合航空隊」	G14120271800
「昭和十二年十一月十日 淞州南京攻撃戰闘詳報 第一連合航空隊上海派遣隊」	G14120272100
「昭和十二年十二月十五日 戰闘詳報 第六十一(十一月十一日) 第一連合航空隊」	G14120272200
「昭和十二年十一月十五日 揚州南京攻撃戰闘詳報 第一連合航空隊上海派遣隊」	G14120273600
「昭和十二年十一月二十四日 南京攻撃戰闘詳報 第一連合航空隊上海派遣隊」	G14120274300
「昭和十二年十二月二日 南京空襲戰闘詳報 第十三航空隊」	G14120304300
「昭和十二年十二月四日 南京攻撃戰闘詳報 第一連合航空隊上海派遣隊」	G14120280100
「昭和十二年十二月四日 南京及滁縣空襲戰闘詳報 第十三航空隊」	G14120304400
「昭和十二年十二月五日 南京攻撃戰闘詳報 第一連合航空隊上海派遣隊」	G14120280400
「昭和十二年十二月十三日 烏龍山砲台攻撃戰闘詳報 第一連合航空隊上海派遣隊」	G14120282500

表5.『支那事変戦記』

日付	爆撃場所 (p.315巻末附録一覽表より)	敵機撃墜数(空中)	本文中の爆撃地点	空襲時の内容	空襲以外の内容
8/15	航空基地 (駐機の8機を爆撃)	9機	南京城内航空基地 (明故宫飛行場) 南京城外航空基地 (大校場飛行場) ・格納庫3棟 ・指揮所 ・庫外飛行機8機 以上を爆破	午前9時半頃南京上空に到着。 当日は風(台風)であった(p.121)。 空中戦では9機を確実に撃墜した。 敵軍事施設及び同機関のみを爆破する制限爆撃(精密爆撃)のため低高度での爆撃を実施した(p.121)。 低空爆撃により紫金山や下関、飛行場から防空砲火(対空砲火)を受けやすく被害がかなり出ている。陸攻側の損害は8機とその乗組員である(pp.121～122)。 Y隊数機が故宮飛行場、I隊数機は大校場飛行場を爆破、格納庫や地上の敵機を多数爆破したとある(p.122)。	木更津海軍航空隊、九六式陸攻20機による空襲。 14時50分～15時30分にかけて爆撃し6機帰還。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』pp.343～346)
	火薬廠 (第一次)	記載なし	南京火薬廠	午後1時半爆撃。 一大爆発とともに同廠に火災発生(p.131)。	13時30分 九六式陸攻7機は南京火薬廠、南京兵器廠を爆撃。
8/19	参謀本部、軍官学校 (第二次)	記載なし	南京参謀本部 軍官学校	午後8時頃爆撃。 それぞれ約10発ずつ命中、構内各所に火災発生(p.131)。	20時00分 九六式陸攻14機が軍官学校、国民政府参謀本部を爆撃、全機帰投。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』pp.349～350)
8/22 8/23	飛行場(2回爆撃)	記載なし	飛行場	午後10時半第一次攻撃隊より探照灯照射がすさまじく飛行場が発見できなかった。 第二次攻撃隊により飛行場を爆撃(p.73)。 探照灯の照射がすさまじいため飛行場と思われる場所で数回旋回したのち位置を確認し爆撃。 地上の敵対空砲や対空機銃に対して爆撃機の機銃で応射。	22日に2回爆撃を実施(pp.73～74)。 * 本文では記載がないものの附録の一覧表では23日の欄に2回爆撃とある。おそらく22日から日をまたいで爆撃を行ったことにより、その報告が23日になったことから一覧表では23日の表記になったと考えられる。 8月22日21時30分 木更津海軍航空隊が大校場飛行場を第一次爆撃。 8月23日01時40分 木更津海軍航空隊が大校場飛行場を前日に続いて第二次爆撃。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』pp.351～352)
8/24	飛行場(飛行機多数)	記載なし		午後基地を出発 大校場飛行場へ向かったとある(p.74)。 探照灯の照射は1、2基と昨夜より少なかった。	8月23日21時50分木更津海軍航空隊の第一次攻撃隊2機が発進。 8月24日01時00分第一次攻撃隊が南京警衛司令部を爆撃。目標誤認のため効果なし。 13時00分 木更津海軍航空隊に南京飛行場爆撃の命令。 18時00分 木更津海軍航空隊の九六式陸攻6機が濟州島発進。 21時30分 南京大校場飛行場を爆撃、全機帰投。 途中中国空軍戦闘機と交戦、一機撃墜。
8/27	市附近、憲兵団、兵工廠	記載なし		爆撃を2回行った(p.133)。	01時40分 木更津海軍航空隊のうち4機が南京に到着し爆撃(機体は九六式陸攻)。 02時20分 木更津海軍航空隊の残り4機が南京に到着し爆撃。8機中1機撃墜される。 04時00分 鹿屋海軍航空隊6機が南京の兵器廠を爆撃。全機帰投。 ((72)『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.353)
9/19	飛行場 兵工廠 その他	21機	地上の飛行機 格納庫 兵工廠	午前8時上海から南京へ進行。 南京上空に到着後敵戦闘機(カーチスホーク)と友軍戦闘機が戦闘。敵戦闘機23機撃墜(p.139)。	日本軍による本格的な空襲が始まる。戦闘機の保護をうけることによって南京上空における制空権が日本優勢になる。19日から22日まで敵戦闘機42機を撃墜とある。 本文には「南京最後の日」「死の都」と位置付けられている。(p.140)
	憲兵司令部、軍事施設	6機	放送局等重要施設	午後4時過ぎ別の一隊が空襲を実施(p.139)。	

9/20	国民政府、飛行場、参謀本部、富貴山砲台	4機	午前 国民政府 参謀本部 無線電信所等 午後 雨花台砲台 富貴山砲台 大校場飛行場等 航空署 防空委員会 中央党部 北停車場 砲台等 その他重要軍事施設	午前、午後に爆撃(p.141)。	一覧表の飛行場は大校場飛行場である(p.141)。 2回南京爆撃を実施。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.406)
9/22	中央党部、航空省、防空委員会、北停車場	4機		朝から晩まで前後7回にわたって空襲を実施。 敵戦闘機4機撃墜(pp.141～142)。	21日は天候不良で中止。(p.141) 本文によると雨などで南京の天気が悪い日以外は爆撃を実施したとある(p.142)。 3回に渡って爆撃を実施。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.406)
9/25	無電台〔中央広播無電台〕、軍政部、交通兵団、北極閣、防空砲台	記載なし			4回に渡り爆撃を実施。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.406) * 戦史叢書では8月の内容とあるが誤植の可能性あり
9/27	硫酸工場	記載なし			
9/28	大校場飛行場	記載なし			
10/5	記載なし	記載なし			
10/6	記載なし	9機			表2番号51・52、表3番号42・43より、大校場飛行場と考えられる。
10/12	大校場飛行場 軍事施設	5機			
10/14	飛行場	1機			
10/16	大校場飛行場	記載なし			第十三航空隊が南京空襲を実施。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.415)
10/18	軍事施設	記載なし			第十三航空隊が南京空襲を実施。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.416)
10/19	大校場飛行場	記載なし			
10/20	大校場飛行場	記載なし			
10/21	大校場飛行場 火薬廠 造兵廠	記載なし			
10/22	大校場飛行場	記載なし			
10/23	飛行場	記載なし			
10/24	記載なし	1機			
10/26	飛行場	記載なし			
11/10	格納庫 兵舎	記載なし			
11/11	大校場飛行場	記載なし			
11/15	諸軍事施設	記載なし			
11/22	軍事施設	3機			
11/24	大校場飛行場 地上機数機	3機			九五式陸攻3機、艦戦9機、艦爆6機が電話局を空襲。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』pp.508～509) 艦戦9機、艦爆5機が大校場飛行場を爆撃。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.509)
11/25	大校場飛行場 地上機数機	記載なし			ソ連戦闘機30機 重爆撃機6機と交戦し7機を撃墜(p.320)。
12/2	大校場飛行場	戦闘機10機 重爆撃機3機			12時15分 九六式陸攻8機、九六式艦戦6機が南京を空襲。艦攻は大校場飛行場を爆撃。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.510)
12/3	大校場飛行場	記載なし			艦戦21機、艦爆12機が南京に向かうも中国軍機が無く、付近の飛行場を爆撃。 ((72)Ⅲ戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』pp.510～511)

12/4	城内 飛行場	記載なし		九六式陸攻3機、艦戦9機、艦偵1機が明故宮飛行場を爆撃。 燃料庫を爆破(p.320)。
12/5	飛行場	記載なし		九六式陸攻3機、艦戦3機が明故宮飛行場格納庫を爆撃。 ((72))『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.511)
12/8	地上部隊	記載なし		陸軍の南京攻略戦への協力(p.321)。
12/10	城門 故宮飛行場 軍官学校	記載なし		陸軍の南京攻略戦への協力(p.321)。 艦爆が正午前後に中山門、光華門、通済門、敵陣地その他を爆撃。 ((72))『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』pp.511～512)
12/11	富貴山砲台	記載なし		陸軍の南京攻略戦への協力(p.321)。 艦攻、艦爆が明故宮飛行場を爆撃。 ((72))『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.512)
12/12	城門 陣地	記載なし		陸軍の南京攻略戦への協力。 一部は長江上の敗走兵へ攻撃(p.321)。 艦爆、艦攻、艦戦が南京城内の陣地と浦口を終日爆撃。 ((72))『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.512)
12/13	明故宮飛行場附近陣地 烏龍山砲台 劉子口砲台	記載なし		南京陥落により南京空襲が終了(p.142)。 南京城占領。 ((72))『戦史叢書 中国方面海軍作戦<1>』p.512)

註： ①「爆撃箇所」の「」は、整理を行った筆者三名による説明であることを示す。
 ②「空襲時の内容」「空襲以外の内容」にある(頁数のみ)は、出典の頁数を示す。
 ③「空襲以外の内容」の冒頭に「＊」が付された文は、整理を行った筆者三名による註記であることを示す。
 ④「空襲以外の内容」に出てくる時刻は、日本時間(中国時間より1時間早い)。

出典：阿部信夫(編著)1939『支那事変戦記—海軍航空戦—』大日本雄辨会講談社。
 ※南京空襲に関する情報を抜粋して整理